

赤十字活動へのご支援をお願い申し上げます

赤十字の活動に日頃からご協力をいただき、感謝申し上げます。

日本赤十字社は、全国に展開する赤十字病院、福祉施設や血液事業を通して、日々国民の命と健康を守るために尽くしています。

そして、災害が起きれば、一早く医療救護チームを被災地に派遣し、地元の赤十字ボランティアの協力を得て、救援物資の配付をはじめとする様々なサービスを被災された方々に提供しています。

世界には、「苦しむ人たちの助けになりたい」という気持ちを共有し行動する仲間たちが一八七カ国におり、同じ赤十字の旗の下、事業面で協力し、災害時には手を携えて救援にあたっています。

東日本大震災の後には、九十六もの国から支援が寄せられました。

こうした幅広い活動を継続し、さらに充実させてゆくために、皆さまの一層のご理解とご協力を期待しております。よろしくお願い致します。

平成二十五年五月

日本赤十字社 社長 近衛 忠輝



日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

日赤なら



活動資金にご協力下さい。

郵便局からのお振込の場合

口座記号番号:00950-9-105293
加入者名義:日本赤十字社奈良県支部

※振込用紙の通信欄には、「活動資金」とご明記ください。
※南都銀行からお振込の場合は、支部へご連絡ください。振込用紙を郵送いたします。

日本赤十字社奈良県支部

検索



TEL:0742-61-5666

FAX:0742-61-5756

<http://www8.ocn.ne.jp/~jrc-nara/>

県民の皆様には、赤十字事業の推進につきまして、日ごろより格別のご支援ご協力を賜り、心から厚くお礼申し上げます。

日本赤十字社では、赤十字の精神である「苦しんでいる人を救いたい」という思いから、平成23年の東日本大震災や台風12号などの災害時における救護活動など、さまざまな活動を展開して参りました。

これらの活動は資金面で応援して下さる赤十字社員はもとより、赤十字奉仕団、地域の皆様のボランティア活動によって支えられています。

本年も5月を中心に「赤十字社員増強運動」を展開いたしますので、赤十字活動の趣旨をご理解いただき、より多くの方が社員(会員)としてご加入くださいますようお願い申し上げます。

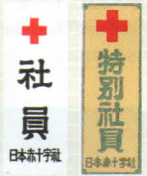
Our world. Your move.

あなたが支える赤十字活動

日本赤十字社は、社員※をもって組織する特殊法人で、国内外で行っているさまざまな人道的活動は、社員（会員）が納める社費と皆様の寄付金やボランティアで支えられています。皆様の温かい善意を心よりお待ちしております。

※赤十字社員とは

株式会社などの会社員という意味ではなく、社団法人の社員又は会員と同様で、毎年500円以上の社費※を納めてくださる方を言います。また、赤十字への加入等は、決して強制ではないことをご理解の上、ご支援をお願いいたします。（特別社員は毎年2千円以上の社費を納め、その合計が2万円以上の金額になられた方、または、2万円以上の社費を納められた方を言います。）



※社費、寄付金、社費の違い

「社費」は社員（会員）の方が毎年500円以上納めていただく、言わば会費のようなものです。また社員（会員）以外の方が赤十字活動に支援される資金を「寄付金」（金額は任意）といい、「社費」と「寄付金」を総称して「社費」と呼んでいます。

このほか活動資金にご支援いただく方法として…（遺贈など）

近年、「相続後の余剰財産を寄付したい」という方、また大切な方を亡くされた方々から、「故人の遺産を社会のために役立てたい」「香典返しに代えて寄付をしたい」というお申し出を多くいただいております。赤十字ではこうした尊いご意思にお応えし、大切に使用させていただきます。詳しくは奈良県支部（総務課）までお問い合わせください。

災害救護活動

国内において、地震や大型台風などで災害にあった人々を救護するため、体制の整備と訓練、防災ボランティアの研修に努めています。また救援物資の配布や義援金の受付なども行っています。

東日本大震災では、医療救護班や防災ボランティアの派遣、こころのケア活動などに加え、仮設住宅の入居者を対象に実施している「赤十字にこころ健康教室」に職員を派遣しました。



訓練の様子



福島県の仮設住宅地での「にこころ健康教室」の様子

救護資機材

奈良県支部では、これまで市町村に対し災害救援車などを配備してきましたが、新たに、近い将来、発生が危惧される南海・東南海地震などの大規模災害に備え、希望された市町村に対し、テント・炊出し釜を順次追加配備します。



救援物資

もしもの時に備えて、赤十字は救援物資を備蓄しています。平成23年の東日本大震災や奈良県台風12号災害では、これらの物資を配布しました。



スプーンフォーク、携帯ラジオなどが24品目入っています。



避難所生活の負担を軽減するためマット、枕など8品目が入っています。

青少年赤十字活動

児童・生徒が自ら「気づき・考え・実行する」という生きる力を養い、豊かな人間性や社会性を学校教育の中で育てる取り組みをしています。



加盟校を募集しています。

車椅子体験学習をする子どもたち

国際活動

世界188の国と地域にある赤十字の一員として、災害や紛争等で苦しむ人々の救援を行っています。



コレラが流行したシエラレオネで活動している日赤医師

看護師の養成

豊かな人間性と看護に関する幅広い能力と救護の専門知識を兼ね備えた看護の実践者を育成するため、大阪赤十字看護専門学校で委託養成事業を行っています。
赤十字看護大学生には奨学金制度も設けています。



赤十字講習会

いざというときに備え、心肺蘇生やAEDの使用法などを学ぶ救急法など、すぐに役立つさまざまな講習会を実施しています。平成24年度は講習指導員資格を有する安全法指導赤十字奉仕団に協力いただき、約320回開催し、延べ1万人以上の方に受講いただきました。平成25年度の詳しい講習会の日程は、ホームページをご覧ください。

救急法講習



一次救命処置や急病や骨折などのけがの手当などについて学べます。

幼児安全法講習



子どもに起こりやすい事故の予防とその手当などについて学べます。

災害時高齢者生活支援講習



避難所での生活支援の方法・こころのケアについて、また防災・減災のための対応などについて学べます。(シーツを利用して背負っています)

健康生活支援講習



高齢者との接しかたや介護のしかたなどについて学べます。(身近なものを使って足を温めています)

水上安全法講習



泳ぎの基本と事故防止、溺れた人の救助の方法などについて学べます。

赤十字ボランティア



参加者を募集しています

“赤十字のボランティア活動を通じて、 地域社会を住みよくしよう”

という気持ちをもった人々の集まりで、年齢や性別は問わず災害救護や献血の推進、講習会の普及や赤十字事業の推進をはじめ、地域社会のニーズに応じた社会福祉活動等に幅広く参加、協力しています。

地域赤十字奉仕団

全体の取組として赤十字事業の普及と推進、ハンセン病施設訪問（岡山県）と里帰り事業への協力、地区委員会や研修会などを開催しています。また、地域活動では、防災訓練への参加、献血協力の呼びかけ、クリーンアップならキャンペーンへの参加、海外たすけあいの募金活動と受付協力などの活動のほか、地域ニーズに応じた老人ホームでの交流や清掃活動などの活動をしています。



安全法指導赤十字奉仕団

指導員資格を有し、健康で安全に暮らすための知識と技術を伝える講習を普及しています。



無線赤十字奉仕団

アマチュア無線の資格を有し、災害時の情報収集や伝達活動を担うため通信訓練を行っています。



青年赤十字奉仕団

勤労青年や大学生で組織され、献血の呼びかけや青少年赤十字活動のサポートなどの活動をしています。



平成24年新しく仲間に加わった
奈良大学学生赤十字奉仕団

看護赤十字奉仕団

看護師の資格を有し、公共性の高い行事の臨時救護などの活動を行っており、「奈良マラソン」でも協力しています。

青少年赤十字賛助奉仕団

退職された青少年赤十字指導者で組織され、青少年赤十字を側面から支えています。

血液事業

血液センターでは、県内各地で献血をお願いし、24時間体制で安全な血液を安定的に医療機関へ届けています。血液は、まだ人工的に造ることができず、また、長い期間にわたり保存もできないため、絶えず誰かの血液が必要となります。中でも若年層の献血者が全国的に減少し、14年後には約100万人の輸血用血液が足りなくなると推測されます。患者さんのもとに安定的に輸血用血液を届けるためにも、血小板成分献血、400mLの献血にご協力をお願いします。



献血基準	成分献血		全血献血	
	血漿	血小板	200mL献血	400mL献血
年齢	男女とも 18歳～69歳	男性18歳～ 69歳※	男女とも 16歳～69歳※	男性17歳～ 69歳※
		女性18歳～ 54歳		女性18歳～ 69歳※
体重	男性45kg以上・女性40kg以上			男女とも 50kg以上

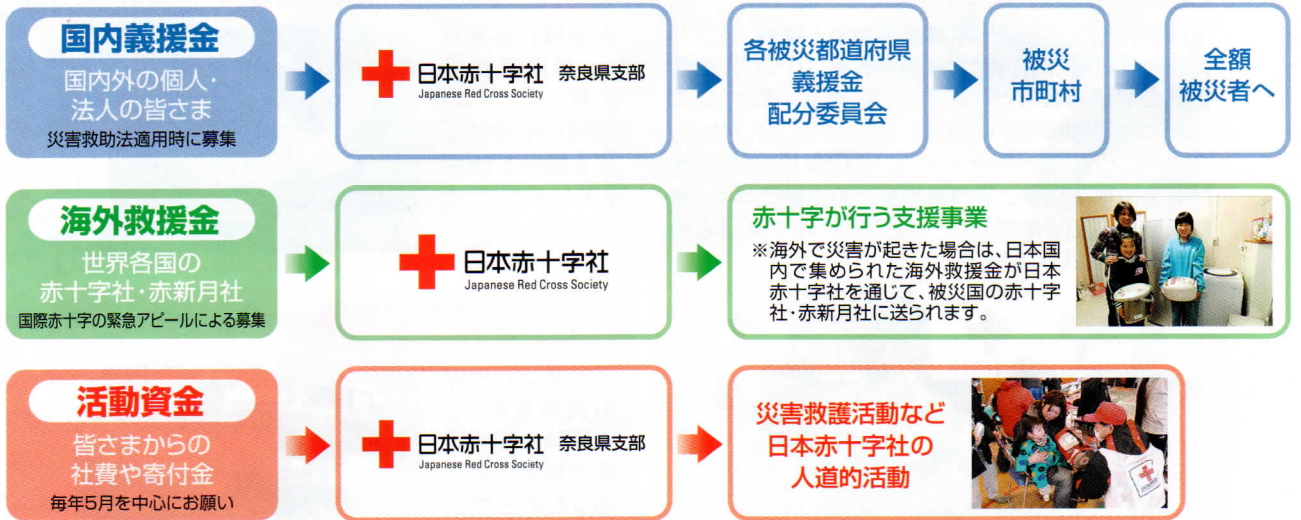
※65歳から69歳までの方は、60歳から64歳までに献血の経験がある方に限ります。

皆さまからの国内義援金・海外救援金・活動資金について

大規模な災害が発生すると、日本赤十字社には被災者の方のために、国内の義援金のみならず海外からも多数の救援金が寄せられます。「国内義援金」は被災地の市町村を通じて、被災者の皆さまに全額届けられます。（平成25年3月1日現在の被災者への配分率、東日本大震災：91%、奈良県台風12号災害：100%）

また、海外の赤十字・赤新月社から日本赤十字社に送金された「海外救援金」は、日本赤十字社が行う災害の支援事業に役立てられます。

そして、年間を通じてお寄せいただく「活動資金」は、災害時の医療救護活動をはじめ、毛布などの救援物資の配布、災害に備えて行う訓練やボランティア育成、講習会事業、青少年赤十字活動などに活用されます。



日本赤十字社に対する一定額以上の寄付などは、すべて税法上の優遇措置が受けられます。詳しくは、日本赤十字社奈良県支部のホームページをご覧ください。

いざ!という時に備えていますか?

非常持ち出し品 チェックリスト

避難の妨げにならないよう軽くコンパクトにまとめ、すぐに持ち出せる場所に置きましょう。ご自身の環境に合わせて必要なものを準備しましょう。定期的の中身をチェックしましょう。

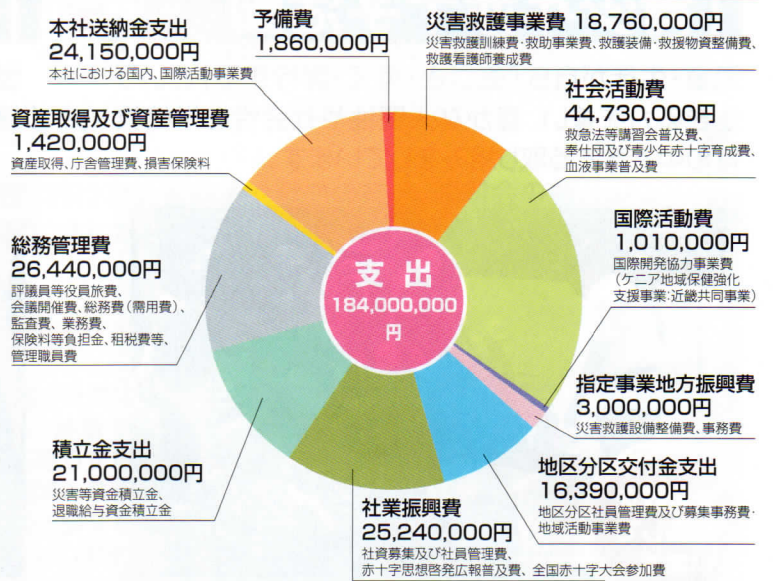
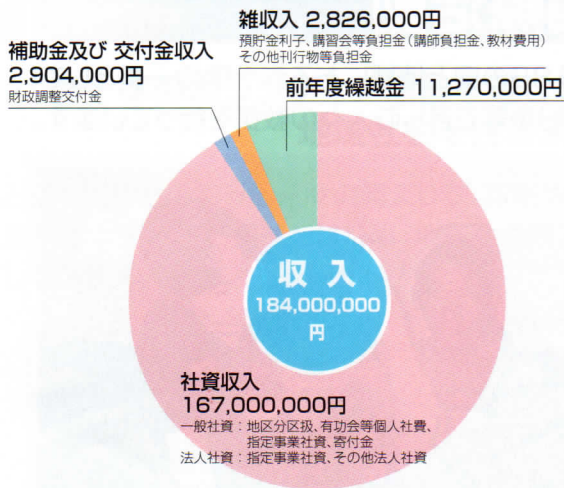
<input type="checkbox"/> 貴重品 (現金:小銭を含む・印鑑・預金通帳)	<input type="checkbox"/> 飲料水	<input type="checkbox"/> 毛布・アルミ製保温シート
<input type="checkbox"/> 身分証明書 (運転免許証、健康保険証など)	<input type="checkbox"/> 非常食	<input type="checkbox"/> スリッパ
<input type="checkbox"/> 車や家の予備鍵	<input type="checkbox"/> 懐中電灯 (予備電池を含む)	<input type="checkbox"/> マッチライター
<input type="checkbox"/> 携帯電話 (充電器を含む)	<input type="checkbox"/> 防災ずきんかヘルメット	<input type="checkbox"/> 簡易トイレ
<input type="checkbox"/> 携帯ラジオ (予備電池を含む)	<input type="checkbox"/> 万能ナイフ	<input type="checkbox"/> 着替え (下着など)
<input type="checkbox"/> 家族の写真 (はぐれた時の確認用)	<input type="checkbox"/> マスク・使い捨てカイロ	<input type="checkbox"/> 常備薬・持病薬・お薬手帳
<input type="checkbox"/> 緊急避難カード	<input type="checkbox"/> 軍手か革製手袋	<input type="checkbox"/> 救急セット
<input type="checkbox"/> 筆記用具	<input type="checkbox"/> タオル・トイレトペーパー・ウェットティッシュ	
<input type="checkbox"/> 笛やブザー (音を出して居場所を知らせるもの)	<input type="checkbox"/> その他自分の生活にかかせないもの	

緊急避難カード 家族で避難先などの確認をし、家族の情報を共有しておきましょう。

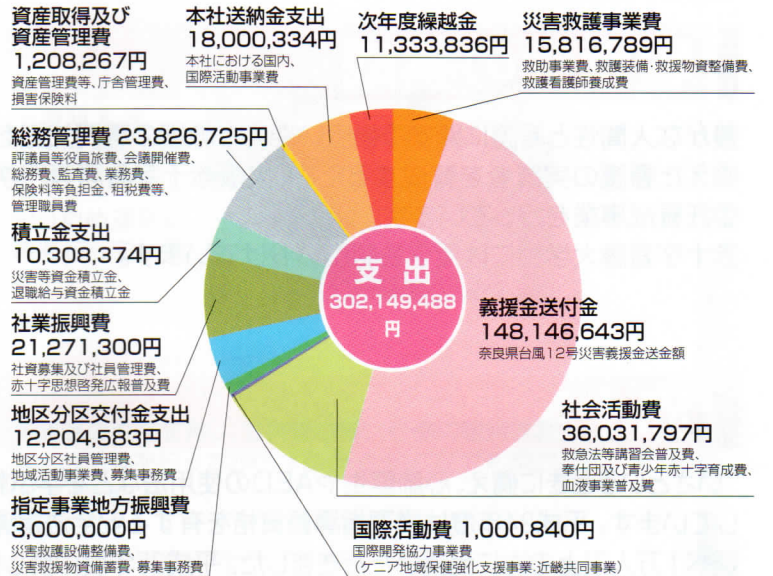
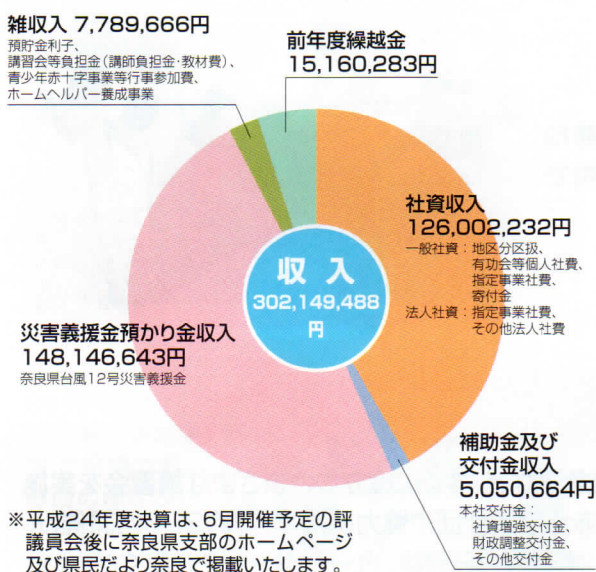
わが家の避難場所	緊急連絡先	第 1 連絡先	
家族の集合場所		第 2 連絡先	
		第 3 連絡先	

この他に、家族の名前・生年月日・血液型・既往歴などをメモしておきましょう。

平成25年度 奈良県支部一般会計予算



平成23年度 奈良県支部一般会計決算



※平成24年度決算は、6月開催予定の評議員会後に奈良県支部のホームページ及び県民だより奈良で掲載いたします。

日本赤十字社の表彰制度

項目	贈与対象内容
支部長表彰状 支部長感謝状	活動資金として、一時または累計で10万円以上を納められた個人・法人等
銀色有功章社員	活動資金として、一時または累計で20万円以上を納められた個人・法人等
金色有功章社員	活動資金として、一時または累計で50万円以上を納められた個人・法人等
日本赤十字社感謝状	金色有功章受章後、更に活動資金として50万円以上を納められた個人・法人等

国の表彰制度

項目	贈与対象内容
厚生労働大臣感謝状	活動資金として100万円以上を納められた個人 300万円以上を納められた法人等
紺綬褒章	活動資金として500万円以上を納められた個人 1,000万円以上を納められた法人等

赤十字に関するお問い合わせ

●日本赤十字社奈良県支部
〒630-8133
奈良市大安寺1丁目23番2号
TEL.0742-61-5666 FAX.0742-61-5766
http://www8.con.ne.jp/~jrc-nara/



献血に関するお問い合わせ

●奈良県赤十字血液センター
〒639-1123
大和郡山市筒井町600-1
TEL.0743-56-5916 FAX.0743-56-4894
http://www.narakenketsu.jp/



●近鉄奈良駅ビル献血ルーム

〒630-8215
奈良市東向中町28 奈良近鉄ビル6階
TEL.0742-22-2122 FAX.0742-81-3220